

3年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査(全国学力・学習状況調査)は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。学校の教育活動に対して支援していただければありがたいと思います。

〈国語〉

○成果……漢字を読む・書く、文章を書く

「漢字を読む」の正答率は94%(目標値 85%)、「漢字を書く」の正答率は 86%(目標値 71%)でした。また、「文章を書く」の正答率は 88%(目標値 70%)でした。学校では、授業や朝のスキルタイムで漢字の指導を丁寧に行い、授業で書く活動に力を入れ、書くことに抵抗をなくすなどの取り組みの成果だと思われます。

●課題……説明をする。

目標値を下回る問題はほとんどありませんでしたが、2つの異なった資料を読んでそれぞれに書かれている内容を理解し、それを相手に伝えるように順序を考えながら説明することに課題があることがわかりました。

課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

いくつかの資料から必要な情報を見つける力をつけるために1学期に行った「保健だよりを読み比べよう」のように複数の資料を読み比べる学習を多く取り入れていきます。また、書く活動をする時、いくつかの条件を与えて書くことを意識して取り入れ、その条件に合った文章が書けるように練習していきます。

○成果……三角形と四角形、表やグラフ

長方形をかいたり、直方体の頂点や面について答えたりする「三角形と四角形」の正答率は 97%(目標値 83%)でした。また、グラフを表にする「表やグラフ」の正答率も 97%(目標値 73%)でした。これは、具体物を使って考えたり、図やグラフや表を実際にかいたりする活動を授業で多く取り入れた成果だと考えます。

●課題……時刻と時間

目標値を下回る問題はありますが、「時刻と時間」は正答率 67%で目標値(65%)と同程度でした。町たんけんの日のそれぞれの場所での発着時刻が時計で示されており、時計から時刻や時間を読み取る問題です。この問題から、与えられた条件を読み取り、時間を比較するという事に課題があると考えられます。

課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

時計の見方はよく理解できていますが、公園にいたのは11時5分から11時25分だから、公園には20分間いたなどの時間についての理解ができていない子がいます。時間の問題に慣れさせるため、日常生活の中で時間について学ばせていきます。また、授業の中で比較や与えられた条件を使って解く活動を多く取り入れていきます。

〈算数〉

【保護者の方へのお願い】

市調査の結果から、予習や復習を行っている児童が少ないということがわかりました。習ったことを確実に身に付けるためには、その日に学校で学習した内容を自主勉強ノートにまとめたり、テストで間違ったところを

おさらいしたりといった復習をしっかりとすることが大切です。ご家庭でも声をかけてください。